

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2001-320705
起案日 平成15年 9月 3日
特許庁審査官 小野田 誠 8427 4L00
特許出願人代理人 特許業務法人池内・佐藤アンドパートナーズ
様
適用条文 第29条第1項、第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。
2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

【請求項1】、【請求項2】

- ・理由 1、 2
- ・引用文献 1、 2、 3、 4、 5、 6、 7
- ・備考

本願の当該請求項に係る発明と引用文献1～7に係る発明との間に構成上の差異を見出すことはできず、本願の当該請求項に係る発明は、同文献1～7に記載された発明であり、仮にそうでないとしても、同文献1～7に記載されたものに基づき、当業者が容易に想到し得る程度のものと認められる。

【請求項3】

- ・理由 1、 2
- ・引用文献 1、 2、 3、 4

・備考

引用文献1 : 例えば、図1 及び関連する記載。

引用文献2 : 例えば、図1 及び関連する記載。

引用文献3 : 例えば、図1 及び関連する記載。

引用文献4 : 例えば、図1 及び関連する記載。

【請求項4】

・理由 1、 2

・引用文献 5、 6

・備考

引用文献5 : 例えば、図6 及び関連する記載。

引用文献6 :

【請求項6】

・理由 1、 2

・引用文献 7

・備考

引用文献7 :

【請求項7】

・理由 1、 2

・引用文献 1、 2～5（理由2）、 6、 7（理由2）

・備考

引用文献1 : 例えば、図1 及び関連する記載。

引用文献2 : 例えば、図1 及び関連する記載。

【請求項8】

・理由 2

・引用文献 1、 2、 3、 4、 5、 6、 7、 8

・備考

引用文献8 : 例えば、図1、【0023】。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平9－102602号公報

2. 特開平4－261065号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。